

松監事一第21号
令和3年8月23日

松本市岡田財産区
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一
同 竹 本 祐 子
同 上 條 俊 道

令和2年度 松本市岡田財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

令和 2 年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

令和 2 年度松本市岡田財産区特別会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

令和 3 年 6 月 1 5 日から令和 3 年 8 月 2 2 日まで

第 3 審査の方法

地方自治法第 2 9 6 条の 5 第 1 項の規定による財産区運営の基本原則に基づき、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等について検証し、審査を実施しました。

第 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるとおりです。

1 決算の概要

(1) 総括

予算現額 3,456 万円（前年度対比 182 万円、5.6%増）に対し、歳入の決算額は 3,489 万 7,068 円（前年度対比 56 万 5,336 円、1.6%増）、歳出の決算額は 2,985 万 5,014 円（前年度対比 254 万 267 円、9.3%増）で、形式収支は 504 万 2,054 円（前年度対比 197 万 4,931 円、28.1%減）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の 504 万 2,054 円の黒字決算となっています。

決 算 収 支

(単位：円、%)

年 度 区 分	2 年 度 (a)	元 年 度 (b)	比 較 増 減 (c) = (a) - (b)	増 減 率 (c) / (b)
予 算 現 額	34,560,000	32,740,000	1,820,000	5.6
歳 入 決 算 額	34,897,068	34,331,732	565,336	1.6
歳 出 決 算 額	29,855,014	27,314,747	2,540,267	9.3
歳入歳出差引額 (形式収支)	5,042,054	7,016,985	△1,974,931	△28.1
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支	5,042,054	7,016,985	△1,974,931	△28.1

(2) 歳入

収入率は、予算対比 101.0%、調定対比 100.0%で、歳入の主なものは、県補助金 1,313 万 3,400 円、一般会計繰入金 555 万 7,000 円、土地貸付収入 506 万 3,167 円です。

決算額は、前年度と比較して 56 万 5,336 円 (1.6%) の増となっています。これは、繰越金及び雑入 (木材売払い収入) が増加したことなどによるものです。

歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 率		収 入 済 額 構 成 比
				予 算 対 比	調 定 対 比	
県支出金	14,900,000	13,133,400	13,133,400	88.1	100.0	37.6
財産収入	5,440,000	5,420,924	5,420,924	99.6	100.0	15.5
繰入金	6,380,000	5,557,000	5,557,000	87.1	100.0	15.9
繰越金	4,420,000	7,016,985	7,016,985	158.8	100.0	20.1
諸収入	3,420,000	3,768,759	3,768,759	110.2	100.0	10.8
歳入合計	34,560,000	34,897,068	34,897,068	101.0	100.0	100.0
元 年 度	32,740,000	34,331,732	34,331,732	104.9	100.0	-
比較増減	1,820,000	565,336	565,336	-	-	-
増 減 率	5.6	1.6	1.6	-	-	-

(3) 歳出

執行率は、86.4%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 2,225万 4,500 円、総務費の財政調整積立基金積立金 351万 6,257 円です。

決算額は、前年度と比較して 254万 267 円（9.3%）の増加となっています。これは、農林水産業費の委託料が増加したことなどによるものです。

歳 出 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	310,000	238,200	71,800	76.8	0.8
総務費	4,937,000	4,567,193	369,807	92.5	15.3
農林水産業費	26,690,000	25,049,621	1,640,379	93.9	83.9
予備費	2,623,000	0	2,623,000	—	—
歳出合計	34,560,000	29,855,014	4,704,986	86.4	100.0
元年度	32,740,000	27,314,747	5,425,253	83.4	—
比較増減	1,820,000	2,540,267	△720,267	—	—
増減率	5.6	9.3	△13.3	—	—

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

年度末現在高は、山林 10,146,061.53 m²、建物（非木造）30 m²、ともに年度中の増減はなく、立木の推定蓄積量は、148 m³減少し、106,151 m³となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 6万 1,000 円で、年度中の増減はありません。

(2) 債権

きのこ採取権売払いによる債権（未調定債権）は、平成 30 年度の入札（4 年契約）で 140万 6,000 円が債権となり、そのうち 105万 4,500 円が令和 2 年度末までに収入となったため、年度末現在高は、35万 1,500 円となっています。

(3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、5,700万7,311円で、前年度より351万6,257円増加しています。

3 監査委員の意見

本財産区は、太陽光発電事業者への土地貸付により、財政運営は比較的安定しています。その財源に加え、補助金も活用し、松くい虫対策とともに森林整備を行っており、その事業費は、昨年度より増加傾向にあります。

今後も、緊急度の高い箇所での伐採も継続しつつ、長期的な観点からも森林整備に取り組んでください。